



高島地域 住民自治協議会 だより【No.7】

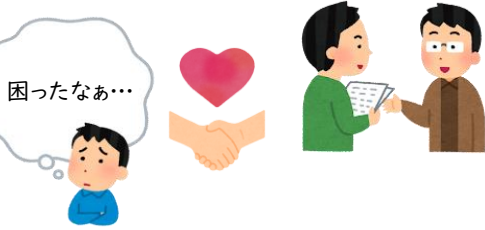
【住民自治協議会ってこんなところ！】

10月の予定表

相談員

1	土		竹中 寛
2	日		久保田 広志
3	月	お休み	
4	火	お休み	
5	水		川島 清治
6	木		清水 良恵
7	金		仁賀 定夫
8	土		林 勝
9	日		加藤 幸江
10	月	お休み	
11	火	お休み	
12	水		横田 久夫
13	木		藪内 キヨ子
14	金		山田 善嗣
15	土		井上 修三
16	日		廣坂 吉憲
17	月	お休み	
18	火	お休み	
19	水		河毛 悦男
20	木		川島 清治
21	金		清水 良恵
22	土		仁賀 定夫
23	日		廣坂 吉憲
24	月	お休み	
25	火	お休み	
26	水		竹中 寛
27	木		加藤 幸江
28	金		井上 修三
29	土		林 勝
30	日		山田 善嗣
31	月	お休み	

地区・自治会の困りごと支援



区・自治会運営においてチョットこまったことがあればご相談ください。その場で解決できなくても市内外の関係部門と連絡を取り解決の糸口を探ります。

地域の人材発掘と担い手の確保

人材発掘!
(のお手伝い)



地域の中には様々な特技や職業経験をお持ちの方がおられます。

そのような方々に高島市域の人材バンクに登録していただき必要とする地域や団体の皆さんに紹介する仕組みを作りたいと思います。

例) 合唱、コーラス、楽器演奏、手工芸、料理、プログラミング、園芸など。

区・自治会単位では困難な事業の実施

今まで当たり前のようにできていた地域の活動が人口減少や高齢化などでできなくなってしまうことが予想されますが、他の地域や団体と連携していくことで可能となります。

そのような調整役を担います。

その他、区・自治会役員の皆様の負担を減らすため、下記サービスを行っております。役員の皆様、各種サポート団体様もぜひご活用ください。

（サポートして下さる協力団体様も随時募集中！）

コピーサービス



【モノクロA4:1枚5円、カラーA4:1枚20円】

パソコン入力サービス



配布物、提出資料等のパソコン入りに負担を感じておられましたらお手伝いいたします

是非お気軽にお立ち寄りください。

【PR原稿募集】

毎月発行している「高島地域住民自治協議会だより」に区・自治会、各種団体のPRやお知らせなどを掲載いたします。

団体PRやイベントの参加募集など、掲載のご希望がありましたら「サポートリングたかしま」にご相談ください！

サポートリングたかしま 高島地域住民自治協議会

事務所：高島市勝野670番地 高島公民館2F

開館日：日・月・火・水・木・金・土（お休みは予定表をご覧ください）

相談時間：10時～13時（相談員が待機しております）

開館時間：09時～16時（パソコン入力などのお手伝いをします）

☎：090-2115-9055（お越しの際は、まずはお電話下さい）

メール：takashima.juminzichikyoku@gmail.com

北鴨は鴨川に沿った天皇橋付近から鴨川橋の左岸に点在する29戸の集落です。

鴨川沿いの集落であるため、洪水など防災に関する意識は高く、自治会や消防団を中心に地域の点検や防災設備の拡充、さらに地域での防災訓練や講習会を実施しています。

近年はコロナ禍により中止していますが、春例祭、八朔、どんどなど行事もできる限り昔から伝わる方法で続けてきました。しかしながら本地域も少子高齢化により、継続が困難になってきています。そこでこのコロナ禍の時期にこうした行事、また自治会組織の見直しを行っています。

伝統行事がなくなることは大変寂しいことですが、何よりも安全・安心な地域での日常生活が過ごせることを最優先に地域全体で共通理解しすめています。



写真は集落内の鴨川堤防付近に平成13年頃に整備しましたツツジ公園です。春にはサクラやツツジが咲き、堤防を散歩、ジョギングする人の目を楽しませています。年間を通じて自治会で除草・剪定などの維持管理をしています。



高島地域の

コンナ話

あんな話

日本古代の3大クーデターの内、2つの終焉地

乙女ヶ池

安曇川・鴨川がつくった高島平野、その最南端部、しらひげ浜水泳場の北側にある乙女ヶ池は、昭和四十年頃まで地図には「洞海」と記されていた内湖です。古代には「勝野の鬼江」と呼ばれていたとか、万葉集には「香取の海」と歌われていた記録が残ります。この乙女ヶ池周辺では、千三百年前に大津京が滅びることとなった壬申の乱(じんしんのらん)の戦が繰り広げられ、近江軍が負けて乱が終焉したと伝わっています。

それから約百年ほど経った天平宝字八年(七六四)には、奈良の都で勢力を誇っていた惠美押勝(藤原仲麻呂)が勢力争いに負け、琵琶湖西岸を逃げ回った挙げ句、乙女ヶ池から琵琶湖に逃げようとするところで家族もろとも殺されたといわれています。(惠美押勝の乱)

壬申の乱と惠美押勝の乱は、藤原広嗣の乱と合わせて「日本の古代の三大クーデター」と呼ばれることがあります。古代の重大事件の二つが乙女ヶ池周辺で繰り広げられたということは日本の歴史上特筆すべきものがあります。

この地で二つもの大事件が起こった背景としては、池の背後の三尾山が琵琶湖に迫り出しており、高島の平野部を湖岸沿いに南下してきても、山際を通って南下してきても乙女ヶ池付近の狭隘なエリアを通らざるをえないことが、その理由と考えられています。

現在の乙女ヶ池周辺には、このような日本史上重大で怖い歴史があったとは思えないようなのかな風景が広がっています。



注：今年は、壬申の乱1350周年に当たる為、大津市歴史博物館で企画展「大友皇子と壬申の乱」特別展が開催されます(10/8日-11/23日)。